

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック  
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ  
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

ガールスカウト  
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836  
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024  
<http://yokohamaasahirc.org>  
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp  
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン  
例会日 月 3 回 水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2024 年 11 月 20 日 第 2 5 6 2 回 例 会 VOL. 5 6 No.15

■司 会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

### ■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	77.78%	修正出席率	70.00%

### ■本日の欠席者

草柳、佐藤（真）、関澤、宋

### ■ビジター

梅津 貴陽様（第2780地区かながわ DEI ロータリークラブ）

梅津 周子様（梅津様奥様）

### ■会長報告

北澤 正浩

皆さま、こんばんは。

本日は、冷たい雨が降り注ぎ、肌寒さが一層身に沁みる中、例会にご出席いただき、ありがとうございます。何卒、お身体の調子を崩されませぬよう、くれぐれもご自愛いただきますようお願いいたします。

11月15日、16日の両日にわたり、地区大会が盛大に開催されました。この場を借りて、ご参加いただいた皆さまに心より感謝を申し上げます。

皆様は既にご存じだと思いますが、15日に開催されました本会議において、我々のクラブが「会員増強率優秀クラブ 第一位」として

表彰されるという栄誉をいただきました。近年、会員増強の困難さはロータリー全体の課題とされる中で、このような結果を達成できたことは、誠に喜ばしいことであり、我々のクラブの団結と努力の象徴であると考えております。特に、昨期の増強委員長であられた五十嵐さんのご尽力には、深く敬意を表したいと思います。この成果は、全ての会員皆さまの熱意と取り組みの賜物です。

さらに、ロータリー財団管理委員会より、新川さんが「ポリオのない世界を目指す奉仕賞」を受賞されたことも併せてご報告いたします。新川さんのポリオ根絶へのご尽力は、当クラブの枠を超え、地域全体の模範となるものであります。その情熱と取り組みが、このような形で評価されたことは、私たち全員にとっても大き



な誇りです。新川さんの受賞は、地域社会とロータリー全体への貢献の証であり、皆さまと共にその栄誉を称えたいと思います。

15日に行われた基調講演では、津田塾大学学長でいらっしゃる高橋裕子先生にご登壇いただき、「新五千円券肖像の津田梅子」というテーマでご講演を賜りました。津田梅子氏が日本初の女子留学生として歩み出し、その後、女子英学塾（現在の津田塾大学）を創設されるまでの壮大な物語を、先生の熱意あふれる語り口で興味深く拝聴いたしました。

また、16日には、多才なアーティストであるジュディ・オングさんをお迎えし、歌手としてのご活動の舞台裏や木版画家としての創作活動について、ご自身の貴重な経験を交えながらお話しいただきました。さらに、名曲「魅せられて」を披露してくださり、会場は大変に盛り上がりました。さらに、五十嵐会員による素晴らしい絵画展示も鑑賞でき、内容充実の二日間であったと感じております。

しかしながら、ひとつ大きな課題を感じたことを率直にお伝えしたいと思います。会員増強率優秀クラブとして表彰された当クラブですが、残念なことに地区大会への参加率が非常に低く、この地区大会において団結の力を示せなかったことを、会長として深く反省しております。この点につきまして、私自身の働きかけが不足していたことを痛感しております。心よりお詫び申し上げます。

地区大会は、年に一度の重要なイベントです。来年こそは、全メンバーの皆さまと共に一丸となり、大会に臨みたいと考えております。どうか皆さまのご協力を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

#### ■幹事報告

市川 慎二

▷例会臨時変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷 RC

・12月9日(月) 休会

・12月23日(月)→クリスマス親睦会

点鐘 17時30分ロイヤルホールヨコハマ

・12月30日(月) 休会

・1月6日(月) 休会

・1月13日(月) 休会

#### ■情報集会報告 Aグループ

出席者 新川・福村・中谷・岡田会員

欠席者 宋・草柳会員

開催日 9月20日(金) 19時から21時

開催場所 二俣川「菜々や」

情報集テーマ中心に意見交換させていただきましたので、下記の通り報告いたします。  
(欠席の会員さまにはメールにてご意見を伺う形を取りました。)

##### ①皆がより楽しめる例会のアイデア

夜間例会の曜日を水曜以外にして欲しい金曜など

##### ②地域参加型奉仕活動について

情報の窓口化が必要事務局の設置

継続的な復興の支援

地域 NPO 法人への支援（募金）

##### ③会費について

会費の種類選択有りにしては（寄付金込みか否か選択できる）

会費を下げる食事はオプション扱い

以上、発言いただいた内容を集約しただけの報告になりますが、情報集会自体は大変良い雰囲気意見交換させていただきました。

#### ■ロータリーの友紹介

新川 尚

○横組み

RI 会長メッセージ

強固な基盤

ロータリー財団のプログラム、特にロータリー平和フェローシップが重要性を増している。

p. 7 ロータリー財団始まりと今

ロータリー財団の成り立ち、概要、寄付金の使われ方の解説。

p. 20 私のロータリーマジック

p. 25 川崎北 RC 加瀬健史「悼む人たちに」

○縦組み

p. 4 SPEECH

津田塾大学学長高橋裕子

「今だから津田梅子そして、サファイアの指輪と私」

p. 20 卓話の泉

紙幣の偽造対策

歯医者さんによる紙幣の記事

p. 21 ロータリーあるある相談室

ロータリーの意義について

■親睦委員会

田川 富男

横浜旭ロータリークラブ

クリスマス家族親睦パーティー

日頃はロータリークラブの活動にご理解をいただきまして、

ありがとうございます。

この機会にロータリアンの専任の心を

見てください。

そして、こころはご家族の支援から

生まれています。

今宵は感謝をこめて

日時 令和6年12月14日(土) 18時より

会場 山手 ボートビル横浜 (船の見える丘公園内)

ご家族、ご友人の参加をこころよりお待ちしております。

会場で駐留センターからのプレゼントを頒布します

親睦委員会



■ニコニコ BOX

梅津 貴陽／本日は厚かましくもお邪魔致します。絵の御縁で貴クラブに辿り着きました。どうか宜しくお願い申し上げます。かながわ DEI ロータリークラブより



北澤 正浩／梅津貴陽様、周子様、本日はお越

し頂きありがとうございます。

市川 慎二／梅津貴陽様、周子様、本日はお越し頂きありがとうございます。

新川 尚／ポリオの賞、受賞は皆様のお陰と感謝申し上げます。

安藤 公一／①五十嵐さん本日の卓話宜しくお願ひします。②梅津様ようこそ。③先週の地区大会ご参加の皆様お疲れ様でした。

福村 正／梅津貴陽様をお迎えして。

五十嵐 正／梅津様本日はメイクアップありがとうございます。

関口 大樹／五十嵐さん、本日の卓話よろしくお願い致します。

岡田 隆／①梅津ご夫妻ようこそ。お土産ありがとうございます。②五十嵐さん本日の卓話よろしくお願い致します。

中島 徹／①梅津様お越しくださりありがとうございます。②皆様改めましてよろしくお願い致します。

■フォルテ祭り決算報告

岡田 隆

決算報告書

社会奉仕委員会

岡田 隆

1. 行事
- 「二俣川銀座商店街フォルテ祭 2024」
2. 開催日
- 2024 年 10 月 14 日 (月)
3. 決算報告

項目	予算金額	決済金額	支払先	備考
出店費用	8,000 円	8,000 円	商店街実行委員会	※昨年より UP
テント代	19,800 円	19,800 円	岡田屋	※昨年同額
お弁当代	10,000 円	11,700 円	かまどや	12 名分
協賛金		30,000 円	商店街実行委員会	
椅子代		3,000 円	商店街実行委員会	
合 計	37,800 円	72,500 円		

協賛金を予算に計上しておりませんでした。

当日参加者は 10 名プラス NPO 団体 3 名でした。

## ■区民まつり決算報告

岡田 隆

### 決算報告書

社会奉仕委員会

岡田 隆

1. 行事 「第34回旭区民ふれあい祭り」

2. 開催日 2024年10月20日（日）

3. 予算

項目	予算金額	決済金額	支払先	備考
協賛金	30,000 円	30,330 円	旭区	
印刷代	22,000 円	0 円	五十嵐印刷	※3か年プロジェクトで計上
お弁当代	8,000 円	11,400 円	崎陽軒	12名分
いす代	1,200 円	1,420 円	旭区（実行委員会）	
パネル作成	20,000 円	22,000 円	岡田屋	12月14日PR用展示 パネル他
飲料代		1,661 円	ローソン	
雑費		574 円	ローソン	ふきん等
合 計	81,200 円	67,385 円		

当日参加者は14名 福村会員、日向会員は弁当無し

## ■三か年プロジェクトについて

五十嵐 正

11月1日地区で初めて「クラブ行動計画推進リーダー説明会」が行われ始めて3年間の目標についての



説明がありました。本日はその内容についてご説明申し上げ、横浜旭の行動計画についてお話をさせていただきます。

「3年間の目標（3-Year Rolling Goals）」の概要について、HPのレジメに沿ってお話しします。この内容は、地区のHPに掲載されている内容です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、別紙のフロー

チャートを見ながら耳を傾けて頂ければと思います。

このプログラムは、国際ロータリーが2024-25年度を初年度とするトライアル期間として導入するものです。目指すのは、クラブ活動の発展と活性化です。

→クラブの発展とは、会員増強。また活性化とは会員の満足度アップと私は捉えました。

私は捉えたと申しますのは、会員の皆様から別の解釈もあればご教示くださいということです。遠慮は要りません。

### 1、プログラムの目的。

国際ロータリーは、この新しい枠組みを通じて以下の3つの目標を掲げています。

#### ①継続性

年度ごとの目標にとどまらず、3年間の中長期的な視点で活動計画を立てること。→これまでの単年度主義から転換ということです。RIでも会長は毎年変わるが、戦略委員は3年変わらないようです。また、クラブに戦略委員会は必須とのことで、戦略委員会の中に3年間計画委員を配置するようです。

#### ②シンプルさと整合性

明確でシンプルな目標設定により、クラブ活動を効率化し、ロータリーの優先事項と整合性を持たせること。優先事項については後半説明します。

→これは目標の分かりやすさを意識していと思います。これから地域の様々な団体や人々を活動を共有していくには、目標の分かりやすさは必修ということです。

### ③地域適応力

各クラブが地域に即した目標を設定し、その存在意義を高めること。

→地域を交えた活動を通じて、クラブの地域貢献度を高めることを目指している。これは明らかに新会員の発掘や新たなクラブ設立を意識していると思います。

#### 2、具体的な進め方ですが

このプログラムの成功には、クラブや地区が新しい考え方を受け入れ、行動することが必要です。具体的には以下の手順を踏みます。

#### ① 目標設定とクラブセントラルの活用

3年間の目標設定：クラブ戦略計画委員会や理事会を中心に、次期会長候補や委員長も巻き込み議論を行います。

そして目標の入力と管理：クラブセントラルで3年間の目標を登録・管理。必要に応じて毎年見直しを行います。

→クラブセントラル（只今構築中）というのは具体的にまだよく分かりませんが、おそらくHP上に数値が可視化されるのではかと考えております。

#### ② 継続性を高めるための文化の醸成

委員長の任期を複数年にするなど、新しい文化を導入。

クラブ内で目標や戦略を共有し、全員で協力して達成を目指します。

→当面は会長・副会長・会長ELが軸になって3ヵ年計画を継承するようですが、会長任期が将来3年になるということではないようです。今は正直分かりません。

#### ③ 進捗のモニタリングと柔軟な対応

毎年の目標達成度を検証し、必要に応

じて計画を修正する「ローリングターゲット方式」を採用。進捗は四半期ごとに確認し、成果をメンバー全員で共有するとあります。

→「ローリングターゲット方式」これは年度毎に進捗状況を管理し、併せて計画の見直しをしていくというような事です。

#### 3、行動計画の指針

私たちはロータリーの行動計画を基に、クラブの戦略や活動を見直し、現代に適した形に進化させる必要があります。この計画には4つの優先事項があります。

1) インパクトの創出：社会に対する奉仕活動の成果をデータで測定し、さらなる効果を追求。

2) 参加者基盤の拡大：新しい方法で人々をつなぎ、クラブに多様性をもたらす。

3) 期待を超える体験の提供：会員が積極的に活動に関わることで、満足度を向上。

4) 適応力の向上：変化を先取りし、持続可能なクラブを構築する。

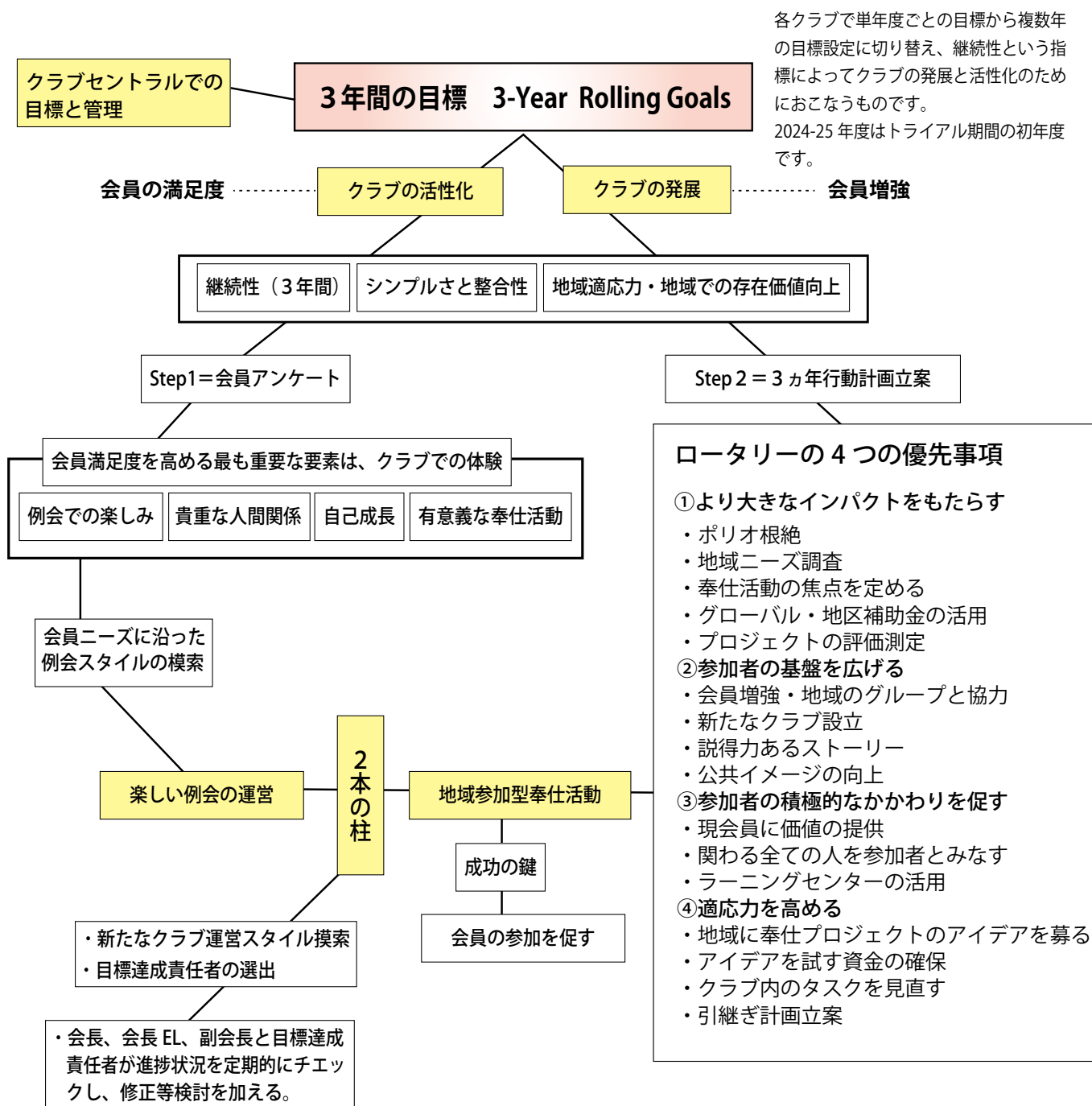
フローチャートの方にはもう少し細かく推奨事項を紹介しております。特に②の新たなクラブの設立の処で、衛星クラブのことについて言及されました。

4、成功の鍵として会員の参加があります。

このプログラムを成功させるには、会員一人ひとりの理解と積極的な参加が必要です。目標を共有し、全員が自分の役割を果たすことで、クラブ全体の成長が可能になるといことです。

また、私たちは「行動人」として地域社会とロータリーを進化させる使命を





持っています。新しい行動計画と3年間の目標設定を通じて、次の世代に誇れるクラブを作り上げましょう。このプログラムは野心的なものですが、協力し計画すれば達成可能です。

皆さんとともに、ロータリーの新たな時代を築いていけることを楽しみにして

います。という事でレジメの説明は締めくくられております。

次に旭が現状掲げている3年間の目標と計画についてご説明します。

食をテーマにした地域防災組織作りと掲げましたが、説明の前にこれまでクラブが行ってきた災害支援の活動の経緯を

説明します。まだ入会の浅い会員はご存知ないようにおもいますので。

→これまでの災害対策委員会の取り組み紹介（紙面では省略）

このような経緯から、三か年計画の柱は、防災を軸に計画を立てることが一つの筋道ではないかと考えた次第です。

2024年3月に、横浜瀬谷クラブとの合同例会において、日本避難所学会の水谷先生をお招きし、同じように災害大国であるイタリアの防災事情の卓話を頂戴し、そのお話の中で、日本との圧倒的な備えの違いについて驚き、災害関連死がゼロに向けた取り組みに衝撃を受けました。

そのイタリアの防災の柱である、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）の仕組みの中で、Kの食についてキッチンカーで、ボランティアとして登録された地域の料理人達が、備蓄の食材から暖かい料理をキッチンカーで提供するという内容に注目し、横浜旭 RC が主体となり、災害時に旭区で被災者1万人に2週間、温かい食事を提供できる体制を目標に立て、具体的な支援策の確立と、その取り組みから地域社会における防災意識の向上を目指すというプロジェクトを立案しました。すごく大きな事のようにですが、旭区の人口は約25万人との25分の1の規模です。こう考えるとささやかな目標

設定とも言えます。

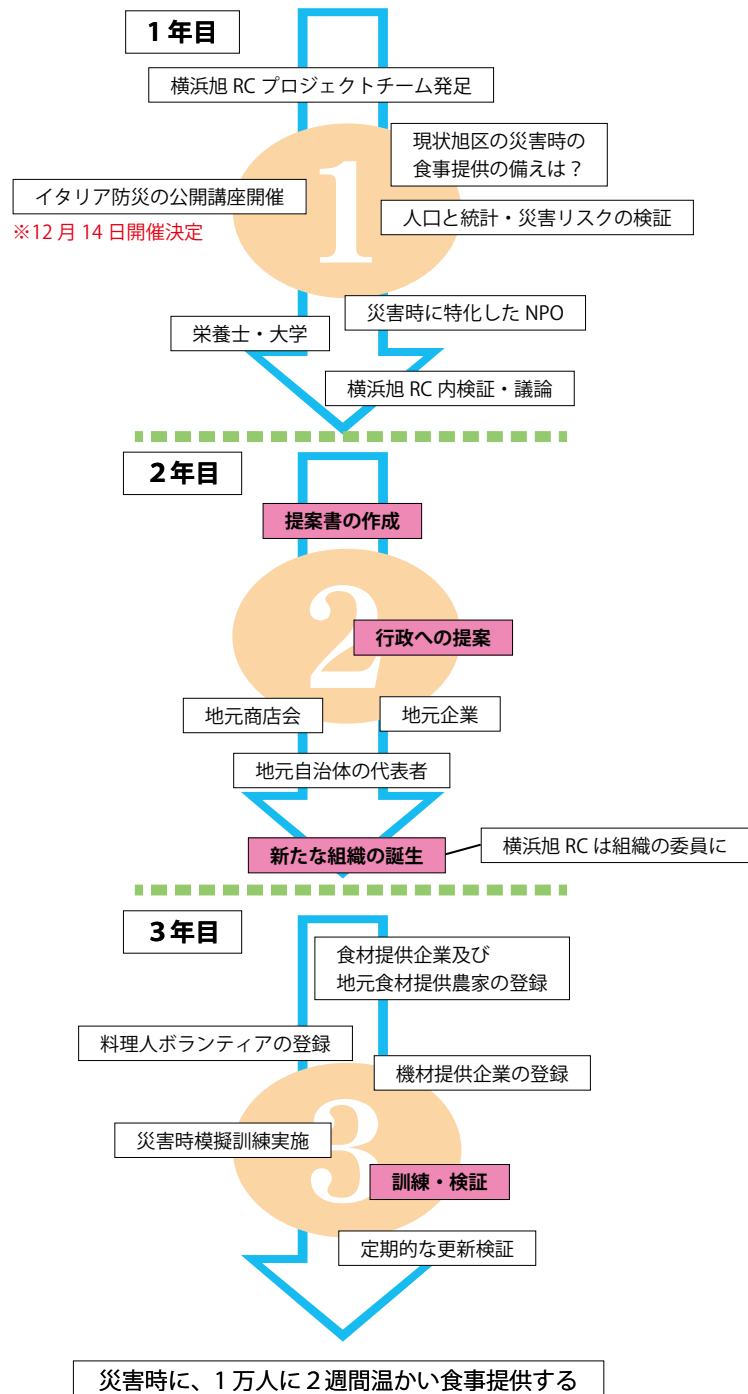
ここで今の想定スケジュールですが。

## ▶ 1年目（北澤年度）

### 1、プロジェクトチームの組成

横浜旭ロータリークラブ内にプロジェクトチームの組成し（これはクラブ内で災害対策委員会の下部組織の専門チーム

災害時の食をテーマにした旭区の地域ボランティアの組織設立提案



として形成されました。)、地域内の人口統計と潜在的な災害リスクを、防災の専門家や大学や災害専門NPOを交えて調査し、情報収集・分析し、どの程度の食料が必要か、また、災害時に想定される特定のニーズ（アレルギー対応、高齢者や子供向けの食事など）を網羅した、調査報告書を作成します。これは恐らく一年以上2年目の五十嵐年度に引き継がれると考えます。

2、合わせて初年度で、イタリアの防災事情と称した市民講演会を計画。また水谷先生にお願いし、一時間の講演と市民との質疑応答などを行います。また、ロビーにはクラブのこれまでの防災の活動報告とこれからの取組についての紹介など、展示したいと考えます。

#### ▶ 2年目（五十嵐年度）

#### 3、新たな組織の運営体制を確立

これは五十嵐年度後半になるかと思いますが、調査報告書を元に、行政に、ロータリークラブ、地域商店会、地元自治体の代表者からなる新たな組織の組成をお願いし、各役割分担を明確にし、その組織の運営体制を確立を目指します。ロータリークラブとしての活動はここまでで、その後はその組織のサポートに当たる。

#### ▶ 3年目（岡田年度）

#### 4、ボランティアと資源の確保

地域の料理人をはじめとするボランティアの募集と登録を行い、また、地元の農家や食品メーカーと連携し食材の備蓄方法、保存技術、供給源の確保を目指します。

#### 4、ロジスティクスとインフラの整備

災害発生時の食材配布や調理場所、キッチンカーの配置計画を立てます。電力やガス、水といった基本的なインフラが途絶えた場合の対策を計画します。

#### 5、実践トレーニングとシミュレーション

区民まつり等のイベントを活用し、実際にボランティア料理人が食事を提供する練習を行い、問題点の洗い出しと改善策を実施します。

#### 6、情報共有と啓発活動

地域住民への防災訓練やワークショップを定期的に開催し、プロジェクトの存在とその重要性を周知します。

SNSや地域のメディアを活用し、活動の進捗や成功事例を共有します。

#### 7、定期的な評価と更新

プロジェクトの進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて計画を見直し、また最新の防災知識や技術を取り入れ、システムを更新していきます。

以上が現状の計画ですが、これから状況に合わせて見直しや改善が求められていくことになると思います。

特に11月1日の説明会の際、旭の計画を聞かれた桑澤PGから、防災を軸にした地域参加型の仕組みは素晴らしいと云われましたが、クラブセントラルの数値管理についての扱いに言及するよう指示がありました。

まずはクラブ内に戦略委員会に設置とともに、会員に皆様がもれなく活動に参加したくなるような仕組み造りが望まれる事と考えております。